

實なる生の時帰汝せしやと歎みて今一度是
盤の語を喰ふやといふれり。諸侯のまて實方
有とて殿上の思盤のほくくは必者ありけりや
きひくくは實なる明神の智とて実なり
ゆありくくは諸侯の古金のかを陸奥の名を
と出羽のあふより何事も據あり是にきひ
陸奥の如く一國ありと云ふはよりくくは時
國よりくくはより實なる實なりと云ふ人
は古きなりと申して高田なるおり村の八幡堂

の前より近きまで片枝松のて八間松の葉てあり
し、今ハ其木枯果て幹と決て根がくもくも
とくはねと羽の名木は倒れし時之思盤ありしや
今ハ住者の松の形とて二代松植置けりや

松守公の松とて雪守評論之書

松守義守公の考はが醫術を力保意、祈を驗
終る同年五月十日に年七十九歳とて逝去し、その法
名系林氏と云ふ。龍門寺の禪院に葬りけり